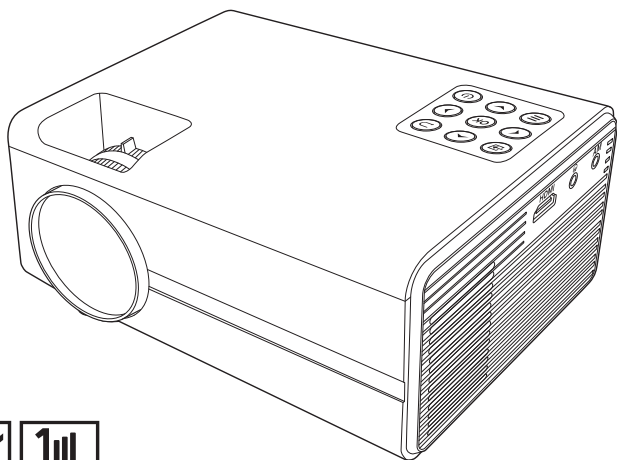


取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあといつでも見られるように大切に保管してください。



も く じ

安全上のご注意	P.2	様々な設定	P.18
ご使用になる前に	P.4	テレビの操作	P.19
各部の名称とはたらき	P.6	放送局の登録	P.19
使用前の準備	P.8	テレビ番組を楽しむ	P.21
設置	P.8	録画機能	P.24
接続	P.10	タイムシフト機能	P.28
リモコン	P.12	録画した番組の再生	P.30
正しい使いかた	P.13	外部接続した機器を楽しむ	P.30
基本的な使いかた	P.13	メディアプレーヤーの使用	P.31
初期設定のしかた	P.15	メディアプレーヤーを使用する	P.31
スマートテレビの操作	P.16	各種設定	P.34
ホーム画面の操作のしかた	P.16	お手入れのしかた	P.35
アプリの追加 (インストール)	P.17	修理・サービスを依頼する前に	P.36
アプリの削除 (アンインストール)	P.17	主な仕様	P.38
ショップ	P.18	保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	ⓧは、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、ⓧの中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 衝撃を与えてしまったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 指示	ACアダプターが通電しない場合やコードが破損している場合は廃棄する。ACアダプターが通電しない場合は分解や修理をせずに廃棄してください。短絡や過負荷により保護回路が作動した場合、保護装置を復旧したり交換することはできません。また、コードは取り換えできません。
	海外で使用しない。 本製品は日本国内専用です。		雷が鳴り始めた後、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときはこすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		リモコンから取りはずした乾電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。乾電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	電源コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		本体側面をふさがない、他のものに密着させない。 本体内部を冷やす吸気排気ができなくなり、故障・火災の原因になります。		使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)はACアダプターを抜き、使用を中止する。 ACアダプターをすぐに抜くことができないように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。		お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	本体のすき間にビンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウラージャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。 なお、ACアダプターは修理できません。
 禁止	電源コードを乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻き付いたりして事故の原因になります。	 使用禁止	ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	ぬれた手で、ACアダプターを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	本製品にダストスプレー(エアダスター)を使用しない。 製品内部にガスが溜まった場合、引火し爆発する恐れがあります。		ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 禁止		 指示		 ぬれ手禁止	

注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ホコリの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になります。	 禁止	室温が高い環境では使用しない。 本体も高温になり、やけどや故障の原因になります。 ※本体内部温度が高温になると、本機は安全のために自動的に本体の運転が停止します。	 指示	長時間使用しないときは、リモコンから電池を取りはずす。 液もれにより、火災・けが・汚れの原因となります。
	窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		本体やACアダプターを長時間机に当てない。 本体もACアダプターも高温になり、低温やけどの原因になります。 ※ACアダプターが熱くなることがありますが故障ではありません		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になります。	 指示	電池の極性に注意する。 リモコンに電池を取り付ける際、乾電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、表示どおりに正しく入れてください。乾電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になります。		持ち運びするときはUSBメモリーを取りはずす。 けが・故障・USBメモリーの破損の原因となります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。		

ご使用になる前に

使用環境について

結露について

- ・寒いところから急に暖かい場所へ移動させると、内部に水滴が付いたりする結露現象が起こります。
- ・この状態で使用すると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて1時間程度放置してください。内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

HDD・USBメモリーについて

HDD

- ・ファイルシステムNTFS/FAT32（テレビ録画）、FAT32（メディア再生）
- ・本機で録画使用可能なUSBハードディスクはUSB2.0準拠の容量最大2TB（セルフパワー方式）まで、メディア再生に使用可能な容量は1TB（FAT32）です。

USBハードディスクについて

- ・USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

USBメモリー

- ・ファイルシステムNTFS/FAT32（テレビ録画）、FAT32（メディア再生）
- ・USB2.0対応
- ・本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるか、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
- ・本機で録画に使用できるUSBメモリーは容量256GBまで、メディア再生に使用できる容量は1TBまでです。
- ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

メディア再生について

- ・本機では以下の形式のファイルを再生することができます。
- 動画：mp4、MPEG-PS 音声：mp3 画像：JPEG、BMP
- ・DRM（著作権保護されたファイル）には対応していません。

電池について

電池を扱うときには

- ・指定以外の電池は使用しない。
- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れて、充電・加熱・分解・ショートしない。
- ・液漏れがおきたら使用しない。
- ・電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
- ・万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないときは電池を取りはずす。
- ・使いきった電池や、使用推奨期限の過ぎた電池も必ず捨ててください。

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル（テレビジョン）放送とは

地上波のUHF帯を利用して提供する放送のことです。取扱説明書では「地上デジタル放送」と記載されています。ケーブルテレビでも地上デジタル放送を受信できます。ご契約、またはご契約予定のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

以下のような環境で地上デジタル放送を受信する場合は、各事業者または管理者にお問い合わせください。

- ・ケーブルテレビ
- ・共聴・集合住宅施設
- ・すでに受信エリアが、放送地域になっていること

地上デジタル放送の受信エリアの目安は、A-PAB（一般社団法人放送サービス高度化推進協会）のホームページでご確認ください。

<https://www.apab.or.jp/>

B-CASカードについて

デジタル放送を視聴していただくために、付属しているminiB-CAS（ミニビーキャス）カードは、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などをした場合は、すみやかに株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。

<https://www.b-cas.co.jp/>

お客様の責任で破損、故障、紛失などをした場合は、再発行費用が請求されます。

ワンセグ放送について

ワンセグ放送の正式名称は「携帯電話・移動体端末向けの1セグメント部分受信サービス」といいます。地上デジタル放送の携帯端末（携帯機器、モバイル端末）向けサービスのためです。

地上デジタルテレビ放送を13セグメントに分け、その12を通常のテレビ放送に、その1つをワンセグ放送用として使用されています。そのため、地上デジタル放送と同じところから電波が送出されています。

無線接続（Bluetooth/Wi-Fi）について

本機はBluetoothおよびWi-Fiの無線通信技術を搭載しています。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯域では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合に、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン 関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・Bluetooth機器と無線LAN機器（IEEE 802.11b/g/n）は、同じ周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くで使用する電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して（10m程度）使用します。

- ・本機はすべてのBluetooth機器、無線LAN（Wi-Fi）対応機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。

- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

- ・無線LAN（Wi-Fi）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社が一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

5GHz帯利用に関する注意事項

- ・5.2GHz帯および5.3GHz帯のWi-Fi屋外利用は禁止されています。（5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局または地上移動中継局と通信する場合を除く）

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器、無線LAN（Wi-Fi）対応機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機器、無線LAN（Wi-Fi）機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します。

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。

無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能、無線LAN（Wi-Fi）機能は日本国内で使用してください。本機のBluetooth機能、無線LAN（Wi-Fi）機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

著作権について

- ・本機でお客様がテレビ放送などから録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるメモリーなどへの記録された内容の損害および録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
記録されたものの使用についても、当社は一切の責任を負いません。

使用されたUSBメモリーなどが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となり、当社は一切の責任を負いません。

インターネットサービスをご利用いただくには、ブロードバンド環境が必要です。インターネット接続料および通信料は、お客様の負担となります。
アプリやコンテンツサービスは、提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了される場合があります。
また、第三者が提供するアプリやコンテンツサービスの変更・停止・終了に起因して発生する不具合や損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら、ただちに電源を切ってACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャお客様相談室に修理をご依頼ください。

- ・異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- ・内部に水や異物が入った。
- ・本機を落とした、本機の一部を破損した。
- ・正常に動作しない（画面が映らない、音が出ない）。
- ・電源コードやACアダプターに傷がある。

ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

商標とライセンス

Google関連

Google、Google Play、Youtube、Google TV、Google Castは Google LLCの商標です。

Netflix

Netflix視聴プランのメンバーシップが必要です。4K視聴については、Netflix、Netflix視聴プラン、インターネットサービス、デバイス機能、利用可能なコンテンツによって異なります。
詳細はwww.netflix.com/TermsOfUseをご覧ください。

Prime Video

Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴは Amazon.com,Inc. またはその関連会社の商標です。

Dolby

Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権 ©2012-2022 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

HDMI

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

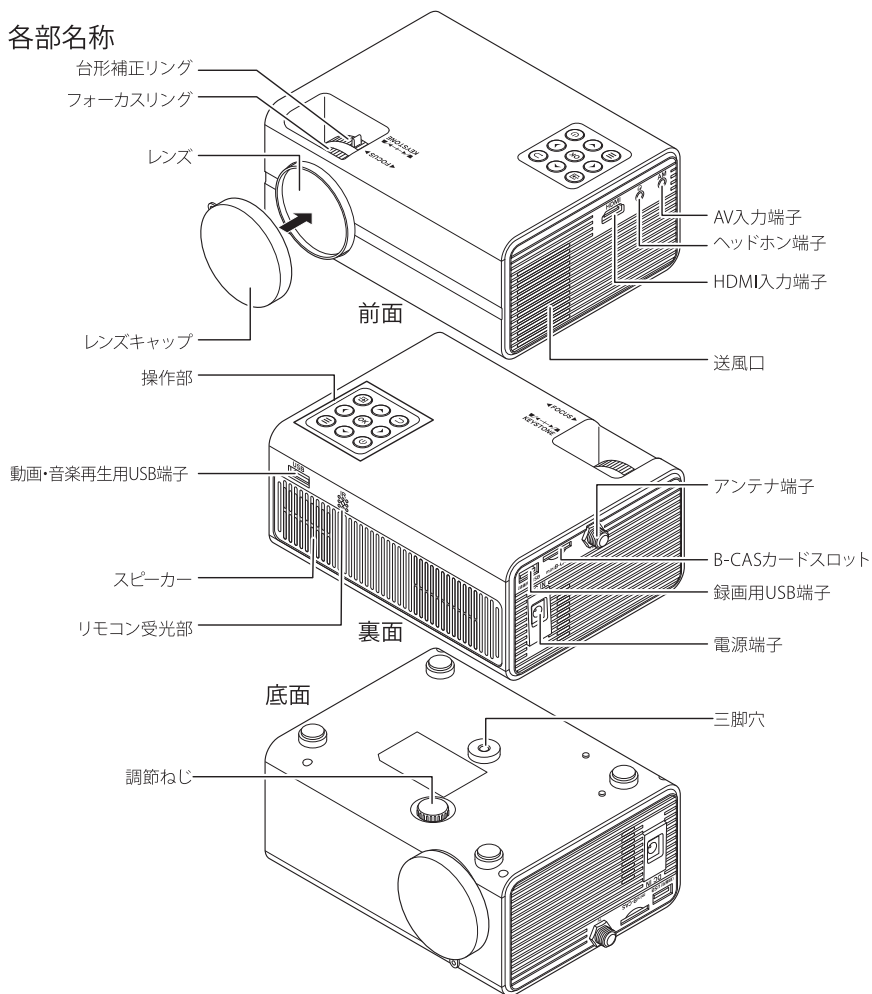
Bluetooth

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc.が所有権を有します。

株式会社ドウシシャは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

各部の名称とはたらき

各部名称



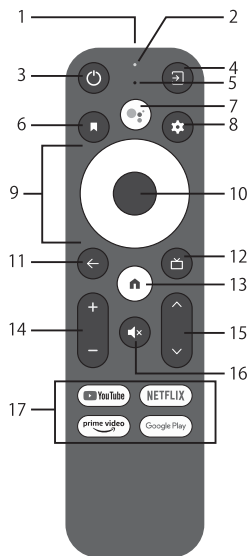
付属品

ACアダプター×1
簡易アンテナ×1
mini B-CASカード×1
三脚スタンド×1

AVケーブル×1
リモコン×1
リモコン用単四形電池(試供品)×2

各部の名称（リモコン）

リモコン



- 1 送信部
本機へ信号を送信します。
- 2 インジケータースタイル
・リモコンがBluetooth接続されているときはリモコンボタンを押すと緑色に点灯します。
・リモコンがBluetooth接続されていないときはリモコンボタンを押すと赤色に点灯します。
・緑色点滅しているときに、音声入力ができます。
- 3 電源ボタン
本機の電源を「入」「切」します。
- 4 入力切替ボタン
入力切替画面を表示します。
- 5 マイク
Googleアシスタント用のマイクです。
- 6 ソフトウェアリモコンボタン
チャンネル切り替え、電子番組ガイド、録画設定、字幕設定などテレビに関わる操作ができます。
- 7 Googleアシスタントボタン
Googleアシスタントを起動し、音声入力ができるようになります。
- 8 設定ボタン
設定メニューを表示します。
- 9 方向ボタン
画面上のカーソルを操作したりメニューの項目を選択します。
- 10 決定ボタン
メニュー画面など方向ボタンで選択した（選択してある）項目を決定します。
- 11 戻るボタン
メニュー画面を表示しているときに、1つ前の画面に戻ります。
- 12 TV設定ボタン
録画管理、チャンネルサーチ、テレビの設定をします。
- 13 ホームボタン
ホーム画面に戻ります。
- 14 音量＋／－ボタン
音量を大きくしたり、小さくしたりします。
- 15 チャンネルボタン
チャンネルを順送り・逆送りします。
- 16 消音ボタン
音声を一時的に消音にします。もう一度押すと消音を解除します。
- 17 ダイレクトボタン
ボタンに設定されているアプリを直接開くことができます。

- NETFLIX : NETFLIX
YouTube : YouTube TV
prime video : Amazon Prime Video
Google Play : Google TV (Google Play Movies & TV)

使用前の準備

設置

水平で安定した場所へ設置してください。

- ・レンズと投影する面を垂直になるように設置してください。
- ・本体底面にある高さ調節ねじで角度をつけることができます。
- ・コンセントまで遠くなる場合は、延長コードなど用意してください。
- ・右にある「投影距離と投影画像サイズの目安」を参考にしてください。
- ・投影距離が長くなると、光量が少なくなり、フォーカスも合わせにくくなります。

⚠ 注意

- ・高さ調節ねじで対応できない角度は、付属の三脚などを使って対応する。
- ・高さ調節ねじを持って運んだり、壁にかけるなど、本来の使いかた以外で使用しない。故障の原因になります。

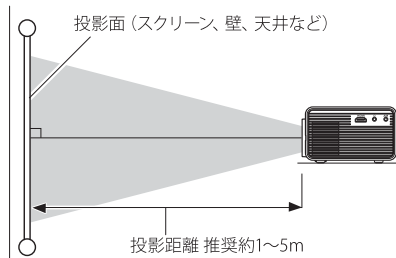
投影面の反対側から投影することもできます。

- ・「投影画像反転切換」を使用することにより、スクリーンの反対側から左右反転した画像を投影し、スクリーンを見ることで対応します（リモコン受光部が裏側にあるので、利用には注意が必要です）。

設置する場所について

本機は熱を発生するため、周囲の温度は上がります。熱に弱いものがある場所での使用は避け、熱を拡散させるため風通しをよくしてください。

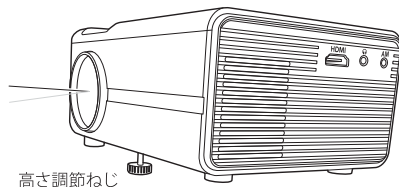
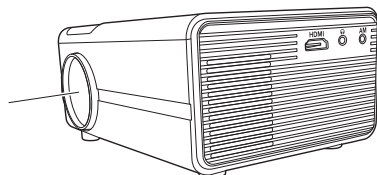
（本機の周囲温度が高くなると目安として40℃以上）、自動的にLEDを消灯させますが、故障ではありません（温度が下がると元に戻ります。）



投影距離と投影画像サイズの目安 (16:9)

投影距離 (mm)	画像対角 (mm)	映像幅 (mm)	画面高 (mm)	投影サイズ (インチ)
1000	813	708	399	32
2000	1727	1505	847	68
3600	3048	2657	1494	120
4500	3810	3321	1868	150

- ・上記数値は、おおよその目安です。
- ・投影距離が長くなると光量が少なくなります。



三脚の使用

付属の三脚を使用すると、角度や高さの調節などを自由に設定できます。

1. 本体の底面を上にして、取り付け穴を上向きにする

高さ調節ネジは締めておいてください。

2. 三脚の取り付けネジを真上を向くようにしてロックリングを回して固定する

時計回り方向に回すと固定されます。

※ロック状態を確認しておかないと、突然角度が変わり、本体や周囲を傷つける原因になります。

3. 三脚の取り付けネジ部分を下向きにして、本体に取り付ける

三脚を時計回り方向に回すと固定されます。

さらに取り付けネジ部分を持って回し、ゆるみがないことを確認してください。

4. 三脚を開き、本体を立ててみる

三脚は必ずすべての脚部を全開で使用してください。

三脚の調節

5. 倒れる方向に凹みが来るようにする

上向き・下向きの角度をつける場合、右図のように、反対側を三脚の凹み部分に来るようにして、調節してください。

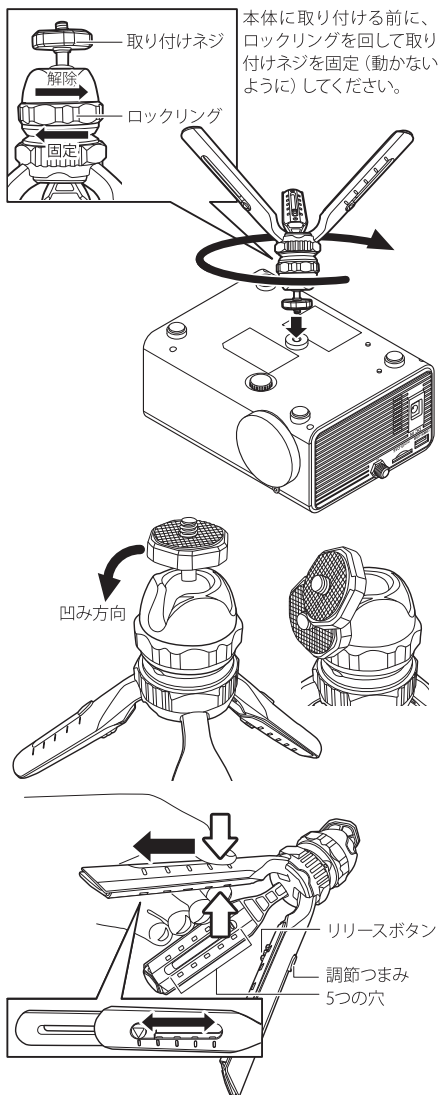
調節後、ロックリングを回して固定させてください。

6. 高さが足りないときは脚部を伸ばす

付属の三脚は脚部の長さを変更できます。

三脚内側のリリースボタンを押しながら、調節つまみを一緒にスライドさせることで、脚部の長さを調節します。

・カチッと音がして三脚裏面にある5つの穴のどれかに入っているようにしてください。



使用前の準備（つづき）

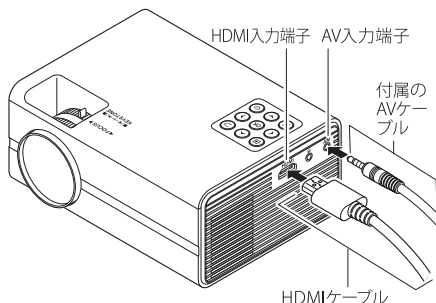
接続

外部機器の接続

本機は、HDMI接続またはアナログ接続をすることができます。

HDMI機器の接続

1. 接続したい外部機器にHDMIケーブルを接続する
 - ・ HDMIケーブルは付属しませんので、HDMIロゴ（**HDMI**）の表示があるケーブルを用意してご使用ください。
2. 本体右側のHDMI入力端子にHDMIケーブルを接続する



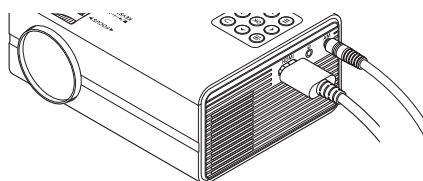
外部機器の接続

1. 接続したい外部機器に付属のAVケーブルを接続する



必ず付属のケーブルを使用する。
似たような他のケーブルを使用すると、故障・破損の原因になります。

- ・ RCA端子（赤・白・黄色）を持つ機器に接続してください。
2. 本体右側のAV入力端子に、付属のAVケーブルを接続する
 - ・ 付属のAVケーブルのφ3.5のミニプラグ側を本体に接続してください。



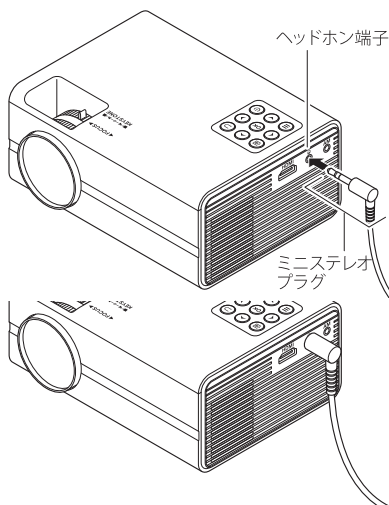
ヘッドホン・外部出力機器の接続

本体から出る音はモノラルのため、ヘッドホンや外部出力機器（スピーカーなど）を接続して迫力ある音を再生することができます。

1. ヘッドホン端子にヘッドホン（または外部出力機器）のφ3.5のミニステレオプラグを接続する

正しく接続されると、本体内蔵のスピーカーからの音が消えて、接続機器からの音声出力に切り替わります。

- ・ 接続ケーブルやヘッドホンは付属しませんので、用意してご使用ください。
- ・ 本機に接続できるのは、3極のステレオプラグです。スマホ対応の4極以上のプラグでは対応（正しく出力）できないことがあります。



大音量での再生に注意する。
周囲に迷惑をかけるだけでなく、聴力に影響をおよぼす場合があります。

アンテナの接続

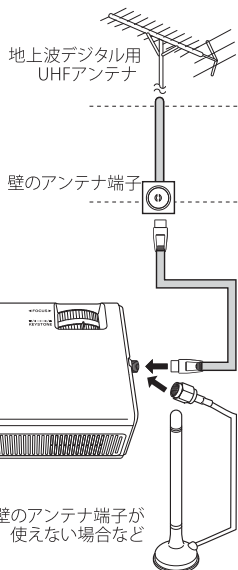
本機は、アンテナを接続することでテレビ放送を見ることができます。



- アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜く。
- アンテナの設置や調整については販売店に相談する。
アンテナ工事には、技術と経験が必要です。

- 本機ではBS・CS放送は受信できません。
- 地上デジタル放送を視聴するにはUHF対応のアンテナを使用してください。
- お使いのアンテナがUHF対応でも、地域やアンテナ設置状況によって、取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になる場合があります。
- 接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。

UHFアンテナに接続できない場合は、付属の簡易アンテナを使用してください。



mini B-CASカードの挿入

本機でデジタル放送を視聴するには、miniB-CASカードが必要です。付属のminiB-CASカードを常にB-CASカードスロットに挿入しておいてください。

1. 付属のminiB-CASカードの印刷面を下・金属の見える端子面を上にする

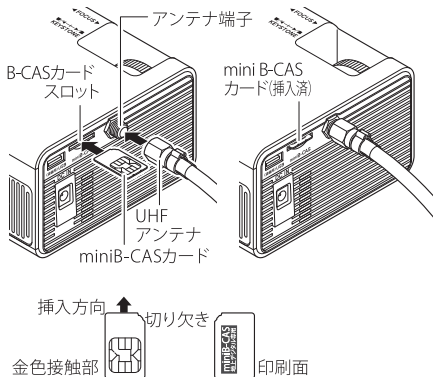
必ず電源に接続されていない状態でminiB-CASカードの抜き差しを行なってください。

- miniB-CAS カードを挿入するときに、miniB-CASカードの金色接触部に指で触れないよう注意してください。もし触れたときは乾いた柔らかい布などで拭いてください。

2. 切り欠きが本体に対して右側になるようにしてB-CASカードスロットに挿入する

miniB-CAS カードを挿入するときは、「カチッ」という音がするまで確実に挿入してください。挿入が不十分だと、カードが正常に認識されません。

※ 間違った差し込みによるminiB-CAS カードの破損、紛失などの場合は、製品保証期間内でもお客様の費用負担（有償）となりますのでご注意ください。



使用前の準備（つづき）

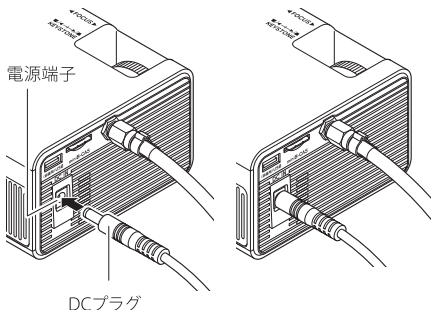
電源の接続



- 必ず付属のACアダプターを使用する。付属品以外を使用すると、故障・破損の原因になります。
- DCプラグは電源端子の奥まで、ACアダプターもコンセントの奥まで差し込む。

1. 本体側面の電源端子に付属のACアダプターのDCプラグを接続する
2. ACアダプターをコンセントに差し込む

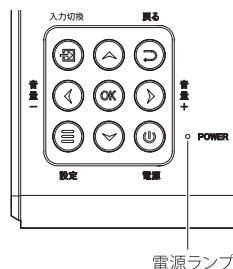
本体操作部の電源ランプが赤色に点灯するまでお待ちください。



リモコン

付属の乾電池をリモコンの電池ケースに取り付けてください。

1. リモコン裏面の電池ぶたを手前に引き、上方向へ引き上げて取りはずす
2. 乾電池の＋－極の方向に注意して、乾電池を入れる
3. 電池ぶたを元の位置に取り付ける
電池ぶたの裏面にあるツメの位置を確認し、リモコン側の凹みに合わせて取り付け、電池ぶたを全体的に動かしてください。



電源ランプ

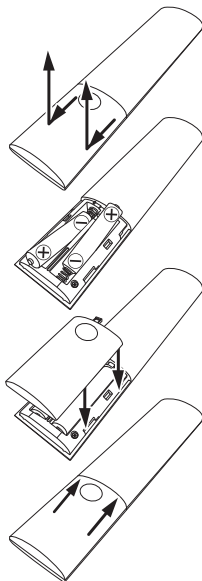
△ご注意

- ・新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- ・乾電池は正しい方向に入れてください。乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。
- ・電池を無理に押し込んで、ばねを押しつぶさないでください。

■お願い

- ・乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- ・長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。
- ・付属の乾電池はお試用です。早めに新しい乾電池と入れ替えてください。

電池ぶたは、乾電池を正しく取り付けしていない状態で取り付けないでください。



正しい使いかた

基本的な使いかた

使用の開始／停止(電源入／スタンバイ)

1. 【電源入】本体の ⏻ 電源ボタン、またはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押す

本機内蔵の冷却ファンが動作をはじめ、電源ランプが緑色に点灯します。

2. 【入力切替】本体の ⏮ 入力切替ボタン、またはリモコンの ⏮ 入力切替ボタンを押す

画面上に入力切替画面が表示されます。

3. 【入力切替】本体の ⏮ ／ ⏭ ボタン、またはリモコンの方向ボタンで選択する

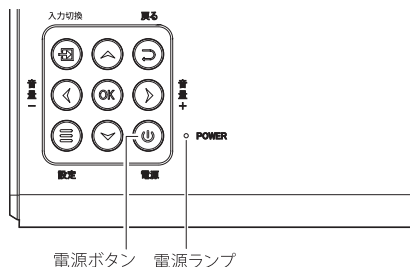
本体の ⏮ 入力切替ボタン、またはリモコンの ⏮ 入力切替ボタンを押すと入力選択画面を閉じることができます。

4. 【入力切替】本体の ⏻ OKボタン・リモコンの決定ボタンで決定する

5. 【スタンバイ】本体の ⏻ 電源ボタン、またはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押す

電源ランプが赤色に点灯します。

本機内蔵の冷却ファンが停止します。



注意

- 十分本体が冷えてから移動させる。やけどの原因になります。
- 冷却ファンが停止するまでACアダプターをコンセントから抜かない。故障の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

フォーカス調節をする

1. 本体のフォーカスリングを回して調節する

ゆっくり回して、投影されている画像の文字が一番きれいに見えるように調節してください。

投影距離が長くなると、光量が少なくなり、フォーカスも合わせにくくなります。

・投影距離と画像サイズについては設置（8ページ）をご覧ください。

※ 止まる位置より無理に回さないでください。

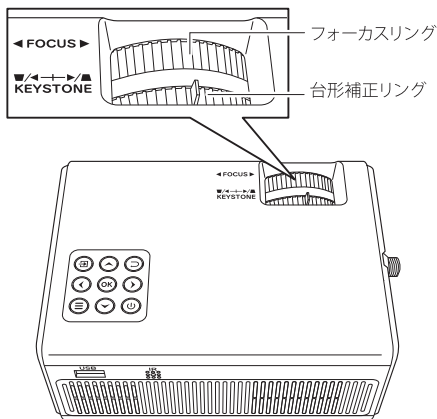
※ 調節してもきれいに見えない場合は、本体の位置を前後させることで見えるようになることがあります。

2. 本体の台形補正リングを回して投影形状を調節する

上下の形状がおかしいときは、台形補正リングで多少形状を調節することができます。

多少スクリーンが斜めにかけられている場合などでも対応できます。

※ 左右の補正はできません。



音量を調節する／音を一時的に消す

音量を調節する

1. 本体の④／⑤ボタン、またはリモコンの音量＋／－ボタンを押す

・本体の④／⑤ボタンは、長押しして音量画面が表示されてから反応します。SMART TVモードのときは、本体の④／⑤ボタン長押しで音量を調節します。短く押すと画面上のカーソル操作になります。

・外部スピーカーを取り付けたとき・取りはずしたときは再度音量調節を行なってください。

・ヘッドホン端子に接続すると本機のスピーカーからの音が消えます。

※ SMART TVモードとSMART TVモード以外で音量の値は別々に調節します。



音を一時的に消す

2. リモコンのⓂ消音ボタンを押す

もう一度Ⓜ消音ボタンを押すと、消音が解除されて元の音量で音が出ます。

・消音のときは、左上に消音マークが表示されます。

初期設定のしかた

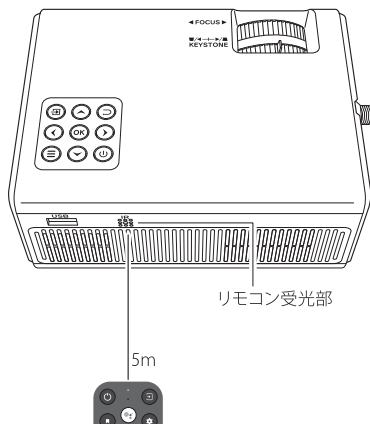
初めてご利用になるときは、初期設定の画面が表示されます。

1. リモコンのペアリングをする

初回設定時にリモコンのペアリング設定を行う必要があります。その際は以下の使用可能範囲で本体後方の受光部に向けて 戻ると ホームボタンを画面が切り替わるまで操作してください。

使用可能範囲：本体正面から垂直で約5m

※リモコンと本体の間に障害物があるときは、正常に動作しないことがあります。



2. 画面の表示に従って初期設定を行う

画面の表示に従って初期設定を行ってください。設定内容は必要に応じてプロジェクターの「設定」メニューから変更いただけます。

＜主な設定内容＞

- ・表示言語を選択する
- ・Wi-Fiに接続する
- ・Googleアカウントでログインする

■お願い

- ・Googleアシスタント機能を使用するには、本機とリモコンのペアリング作業が必要です。

キーボードの使いかた



1 度押すとそのあとに押した 1 文字が大文字に
2 度押すとそのあとに押す文字がすべて大文字になります (もう 1 度押すと元に戻ります)

このボタンを押すたびに变化します
かな表示 《例》 う→う→う→う
つ→つ→づ→つ は→は→ぱ→は

※カタカナは直接入力できません (変換で対応)

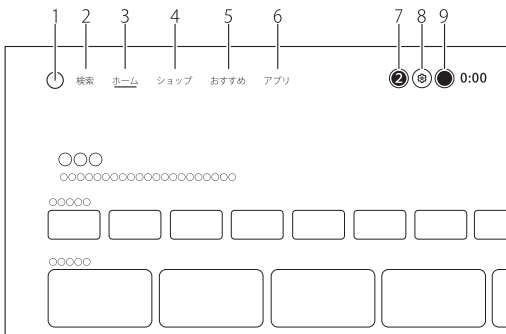
スマートテレビの操作

ホーム画面の操作のしかた

ホーム画面からアプリを選択して動作させたり、設定を変更したり、新しいアプリをインストールしたりすることができます。

ホーム画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

《ホーム画面の例》



1. 音声入力
2. 検索画面
3. ホーム
4. ショップ
5. おすすめ
6. アプリ
7. 通知
8. 設定
9. Googleアカウント

1. 方向ボタンで項目を選択する
2. 選択した項目でまちがないときは、決定ボタンで確定させる
3. ひとつ前の選択画面に戻るときは、
← 戻るボタンを押す
内容によって戻ることができない項目もあります。
※ ⏪ 戻るボタンと方向ボタンの左は違います。
4. おすすめ番組の各プレビューを選択すると、アプリが立ち上がる
前もってアプリを立ち上げて会員登録など済ませておくと、スムーズに観ることができます。
5. ホーム画面に戻るときは ⏪ ホームボタンを押す

アプリの追加（インストール）

本機に初めから搭載されているアプリ以外に、アプリ画面からアプリをダウンロードして使用することができます。

Googleアシスタント（音声検索）機能を使用するにはリモコンをペアリングする必要があります。

(⇒15ページ)

1. アプリ画面を選択する

方向ボタンでカーソルを「アプリ」に移動させて「Google Playストアにアクセス」、または「Playストアアプリ」を選んでください。

2. アプリ画面からアプリを探す

画面上部に表示されているメニューまたは一覧で表示されているリストから利用したいアプリを選択します。

アプリによっては、本機でインストールできない場合や、正しく動作しない場合があります。

3. アプリを選択すると、そのアプリの情報が表示されるのでよく読み、インストールするときはインストールボタンを押す

インストールするのに支払が必要なアプリもあります。画面の指示にしたがって手続きを完了してください。

アプリによっては外部機器（コントローラーなど）の接続が必要なものもあります。

△ご注意

- 表示されるアプリの中には一部使えないものも含まれています。各アプリの使い方やサポートについては、それぞれの開発元にお問い合わせください。

アプリの削除（アンインストール）

使用しなくなったアプリを削除することができます。

1. 方向ボタンを押して削除するアプリに移動する
2. 決定ボタンを長押ししてメニューを表示する
3. 「アンインストール」を選び、決定ボタンを押す

「アンインストール」が選択できない場合、現在削除することができません。

スマートテレビの操作（つづき）

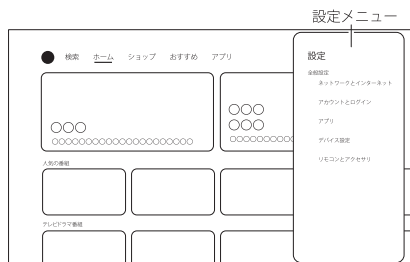
ショップ

設定しているアカウントでレンタル・購入したコンテンツがここに表示されます。

様々な設定

使いかたに合った設定にすることができます。
画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

1. ホーム画面から方向ボタンで画面右上の  設定アイコンを選択し決定ボタンを押す、もしくはリモコンの  設定ボタンを押す
画面右側にメニューが表示されます。
2. 設定画面が表示されるので、内容を選択して設定する
方向ボタン上下で選択し、決定ボタンですらに詳細な内容を表示することができます。
3. 設定したあとは、 戻るボタンで1段階ずつ戻る、もしくは  ホームボタンを押してホーム画面に戻る



本製品はGoogle Cast機能を内蔵しています。

スマートフォンやPCの動画・音楽などを本製品を通じて画面に映し出し、大画面で楽しむことができます。

【コンテンツを画面に映す(キャストする)方法】

- ・ Google HomeアプリをインストールしたスマートフォンやPCを、本製品が接続されているWi-Fiネットワークに接続します。
- ・ スマートフォンやPCで対応アプリを開きます。
- ・ 画面に映したいコンテンツ(動画・音楽など)を選びます。
- ・ アプリ画面に表示されるキャストボタンを押します。

対応アプリや接続方法・詳しい使い方はGoogleの公式サイトでご確認ください。

テレビの操作

購入後初めて使用するときは、テレビ放送局の登録を行なってください。

放送局の登録

転居などでそれまでと違った環境で使用する場合は、改めて放送局の登録をする必要があります。

1. 本体の **入力切替ボタン**、またはリモコンの **入力切替ボタン** を押す
入力切替画面が表示されます。

2. 入力切替画面で「DTV」を選ぶ

本体の **上下ボタン**、またはリモコンの方向ボタンで選択し、本体の **OKボタン**・リモコンの決定ボタンで決定する。

3. リモコンの **TV設定ボタン** を押す

4. 方向ボタンで「チャンネルサーチ」タブの「自動スキャン」を選択して決定ボタンを押す

スキャンが始まります。テレビ受信できるアンテナが正しく接続されていると受信できる放送局名が出てきます。

5. スキャンが終わると、登録された放送局の番組が流れ始める

本体の **OKボタン**、リモコンの決定ボタンを押すとチャンネルリストが表示されます。本体の **左右ボタン**、リモコンの左右ボタンで視聴する放送サービス（フルセグ・ワンセグ）を切り替え、本体の **上下ボタン**、リモコンの上下ボタンでリストを上下させて確認してください。

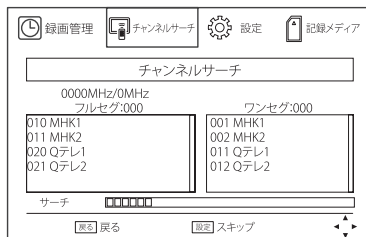
・表示されていない放送局は受信できていないので、視聴できません。受信できない局がある場合は、下記を確認して改善し、再度スキャンを試みてください。

- ・各接続の確認 アンテナ・B-CAS・電源
- ・アンテナ状態の確認 設置場所や方向
- ・アンテナ受信レベルの確認



- ・スキャンするときは日曜深夜（月曜早朝）など放送されていない時間をさける。通常放送されている放送局が登録されません。
- ・アンテナの交換・方向調節など専門業者に依頼する。

※ 通常は「受信する放送を設定する」（➡次ページ）で設定されたサービスが優先されます。



チャンネルリスト画面

テレビの操作（つづき）

受信する放送を設定する

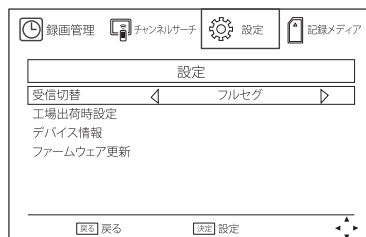
常時受信する放送（ワンセグ放送とフルセグ放送のどちらか）を設定することができます。

1. リモコンの  TV設定ボタンを押す
2. 方向ボタンで「設定」タブの「受信切替」を選択する
3. 方向ボタンの左右で「フルセグ」か「ワンセグ」、「自動」を選択する
自動を設定した場合、フルセグが受信できる場合はフルセグを、ワンセグのみ受信できる場合はワンセグを受信するなど、電波状況によって自動で切り替わります。

- ・決定ボタンを押すことでも選択できます。
決定ボタンを押すたびに次のように切り替わります。



4. 選択後、 戻る ボタンを何度か押し
てテレビ受信画面に戻る



テレビ番組を楽しむ

リモコンで番組を選ぶ

1. 本体の $\odot$ 入力切換ボタン、またはリモコンの $\odot$ 入力切換ボタンを押す

入力切換画面が表示されます。

2. 入力切換画面で「DTV」を選ぶ

本体の $\updownarrow$ 上下ボタン、またはリモコンの方向ボタンで選択し、本体の $\odot$ OKボタン・リモコンの決定ボタンで決定する。

3. チャンネルを選ぶ(選局する)

以下、3通りの選局方法があります。

※ 主番号とは3桁のチャンネル番号の下1桁が1の番号を示します

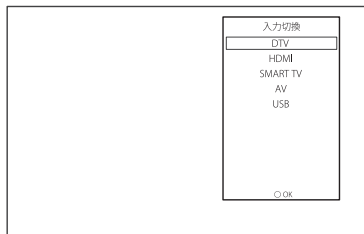
- 本体の $\updownarrow$ 上下ボタン、リモコンのチャンネルボタンを押すと、登録した局の主番号順に切り替えて選局する
- リモコンの $\bullet$ ソフトウェアリモコンボタンを押してソフトウェアリモコンを表示する。ソフトウェアリモコンの数字ボタンでチャンネル番号を入力する。
選局が終わったら、リモコンの $\bullet$ ソフトウェアリモコンボタンを押してソフトウェアリモコンを消す。
- 本体の $\odot$ OKボタン、リモコンの決定ボタンを押すとチャンネルリストが表示されるので、本体の $\updownarrow$ 上下ボタン、リモコンの方向ボタンの上下で選択し、決定して選局する
チャンネルリストを消すときは本体の $\leftarrow$ 戻るボタン・リモコンの $\leftarrow$ 戻るボタンを押します。

フルセグ／ワンセグを切り替える

1. 本体の $\odot$ OKボタン、リモコンの決定ボタンを押してチャンネルリストを表示させ、視聴する放送サービス（フルセグ／ワンセグ）を本体の $\leftarrow$ 左右ボタン・リモコンの方向ボタンで切り替えて選局する

通常は「受信する放送を設定する」で設定された放送サービスが優先されます。

※ 切り替わらない場合、設定画面でどちらかに設定されているか、ワンセグになる場合はフルセグを表示できるだけの電波が弱いと考えられます。



チャンネルリスト画面



リモコンの決定ボタンを押して、チャンネルリストを表示した例。

- 方向ボタンの上下でチャンネルを選択し決定ボタンで選択したチャンネルに切り替える。
- 方向ボタンの左右でフルセグ・ワンセグを切り替える。

テレビの操作（つづき）

音声を切り替える

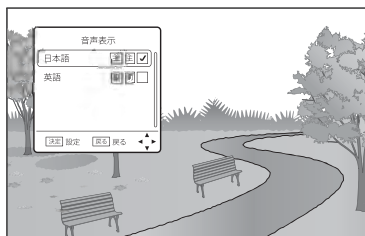
複数の音声で放送されている番組の場合、主音声、副音声、主+副音声などの音声信号を切り替えることができます。

1. リモコンの **ソフトウェアリモコン** ボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【音声切替】を選択

音声画面が表示されます。

方向ボタンで設定し、決定ボタンを押してください。

- ・ヘッドホンや外付スピーカーなどでステレオで音を出したときに左右から出る音、言語を設定できます。
- ・本機の場合はモノラルスピーカーのみ搭載しているため、左右別々の設定（主音声と副音声）をした場合、混ざって（主音声+副音声）音声がかかります。



音声画面

字幕表示／非表示を切り替える

字幕放送番組の場合、放送されている字幕の表示／非表示を切り替えることができます。

1. リモコンの **ソフトウェアリモコン** ボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【字幕】を選択

【字幕】を選択するたびに、字幕の表示／非表示が切り替わります。

- ・【字幕】を選択したときに、画面右上に「字幕オン」「字幕オフ」と表示されます。



注意
音声や字幕の設定はご視聴される番組によって操作や設定ができない場合があります。

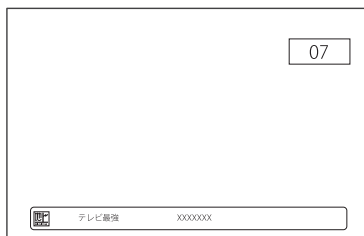
番組の情報表示をする

現在視聴中の番組や放送局の情報を表示させることができます。

1. リモコンの **ソフトウェアリモコン** ボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【情報表示】を選択

現在視聴している番組の簡易情報が表示されます。しばらくすると消えます。

簡易情報表示中にソフトウェアリモコンの【情報表示】ボタンをもう一度押すと、受信局の詳細情報が表示されます。



(簡易) 情報表示画面

電子番組ガイド(EPG)で番組を探す

番組ガイドを使う

1. 番組視聴中にリモコンの **ソフトウェアリモコン** ボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【EPG】を選択

番組ガイドが表示されます。

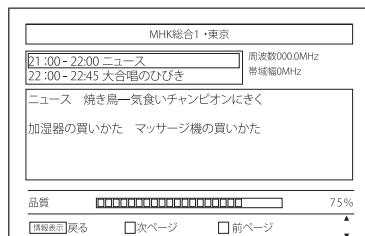
- ・番組ガイドの取得および画面の表示には時間がかかる場合があります。
- ・番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組ガイドとは異なる場合があります。

3. 視聴する番組を方向ボタンで選ぶ

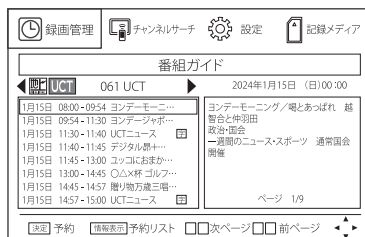
方向ボタンの左右で、視聴する放送局を選択し、方向ボタンの上下で、視聴する番組を選択してください。

- ・画面左枠の番組一覧はソフトウェアリモコンの【赤】【緑】で切り替えます。
- ・画面右枠の番組内容はソフトウェアリモコンの【黄】【青】で切り替えます。

◀ 戻るボタンを押すと前の操作に戻ります。



(詳細) 情報表示画面



テレビの操作（つづき）

録画機能

録画機能について

録画機能をご利用いただく前に下記をよくお読みいただき、正しくご理解の上でご利用ください。

- 本機は複数の番組を同時に録画することはできません。
- 本機には録画用のメディアは内蔵されていません。録画機能をご利用される場合は、別途市販のメディアをご用意ください。
- 録画用として接続したメディアは事前に試し録画を行ない、動作の確認を行なってください。
- 録画機能はテレビ番組のみで利用が可能です。他の外部機器からの入力データを録画することはできません。
- 録画中は他のチャンネルに切り替えられません。
- 何らかの理由で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 本機で録画したデータは本機以外の機器で再生はできません。
- 本機を修理に出した場合、以前録画したデータは視聴できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 著作権保護のため、本機で録画したデータの移動やコピーは行なわないでください。
- 本機で録画したデータは、個人または家庭内その他これに準ずる範囲内で楽しみいただく以外には、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。また、許諾なく複製や改変を行ったりインターネットなどで送信や掲示を行なうことは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利の侵害となりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自身のホームページやSNSなどに掲載する／メールなどで他人に送る
 - 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
 - 著作権法に違反した場合、刑事処罰を受ける場合もあります。自己責任のもとでご利用ください。
- 著作権法違反により生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。

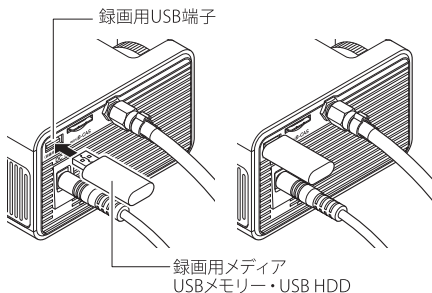
録画用メディアの接続



- ・スタンバイ状態で録画予約のないときに取り付け・取りはずしをする。
録画中に取りはずしをすると、記録内容が破損し、ほかの記録内容にも悪影響を及ぼし、故障・破損の原因になります。
- ・DCプラグは電源端子の奥まで差し込む。

接続できる録画メディア

形態 : USBメモリーまたはUSB接続HDD
 フォーマット : FAT32 または NTFS
 容量 : USBメモリー 最大256GB
 USB接続HDD 最大2TB
 (セルフパワー方式)



1. 本体側面の録画用USB端子にUSBメモリーまたはHDDを接続する
2. リモコンの TV設定ボタンを押してメニューを表示させる
3. リモコンの方向ボタンで「記録メディア」タグを選択して決定ボタンを押す

ほかのタグに入った場合は、 戻るボタンで一番上のタグ選択ができるようになります。

4. リモコンの方向ボタンで「メモリー管理」を選択して決定ボタンを押す
5. リモコンの方向ボタンで「記録デバイス」を選択して決定ボタンを押してメディアの確認をする

接続したメディアの状態を確認してください。
 確認後、 戻るボタンを押して、ひとつ前の画面に戻ってください。



テレビの操作（つづき）

6. メモリー管理から「フォーマット」を選択して決定ボタンを押す

本機で使用するメディアをフォーマットします。

実行するときは決定ボタンを押すと、再度確認画面が出ます（決定ボタンまたは  戻るボタンを押してください）



番組の録画〈ダイレクト録画〉

視聴中の番組を録画したい時は以下の手順でUSBメモリーに映像が録画できます。

1. リモコンの  ソフトウェアリモコンボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【録画】を選択

「レコーダー開始、お待ちください」と表示され、しばらくしてから録画が始まります。

- 録画用のメディアの容量が足りない場合は「ディスク残量が不足しているため、録画できません」と表示されます。
- 録画が始まると画面左上に「録画中」と点滅表示されます。

3. 録画を停止させるときはソフトウェアリモコンの【停止】を選択
確認画面で決定ボタンを押すと、録画が停止します。

- 予約録画を設定すると、その予約が優先されます。設定した日時になると自動的に予約した番組の録画に切り替わります
- 画面左上の「録画中」が消えます。

録画を予約する〈番組ガイド録画〉

本機は録画予約を設定することで自動的に番組を録画できます。電子番組ガイド（EPG）で録画したい番組を選んで予約します。

1. リモコンの **ソフトウェアリモコン** ボタンを押す

2. 番組視聴中にソフトウェアリモコンの【EPG】を選択

番組ガイドが表示されます。

- 現在視聴中のチャンネルの番組表が優先的に表示されるので、チャンネルを録画予約するチャンネルにしておく便利です。

- 番組ガイドの取得および画面の表示には時間がかかる場合があります。

3. 番組ガイドが表示されたらリモコンの **ソフトウェアリモコン** ボタンを押す

4. ソフトウェアリモコンの方向ボタン、【赤】ボタン、【緑】ボタンで番組名を探し、決定ボタンを押す

予約設定の詳細を表示します。

- 放送時間などを確認してください。

5. 予約設定の詳細を確認したあと、決定ボタンを押す

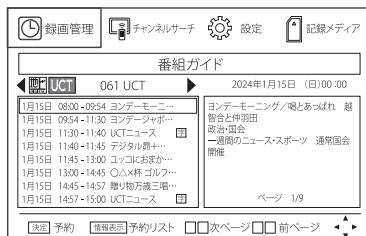
予約録画の内容が確定し、一覧になって表示されます。

- 確定させない場合は、**戻る** ボタンを押してください。

- リモコンの方向ボタン、ソフトウェアリモコンで修正など編集することができます。

※ 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組ガイドとは異なる場合があります。

※ 予約の確認や取り消しについては「設定した予約の確認や修正をする」をご覧ください。



テレビの操作 (つづき)

日時を指定して予約する(日時指定録画)

本機は日時を指定して録画を予約することができます。

1. 番組視聴中に $\odot$ TV設定ボタンを押す。
2. リモコンの方向ボタンで「録画管理」タグを選択し、決定ボタンを押す
3. リモコンの方向ボタンで「指定録画」を選択し、決定ボタンを押す
 - ・間違っただけの項目を選択したときは、 $\leftarrow$ 戻るボタンを押してください。
4. 録画日付 / 開始時間 / 終了時間を設定するときは、ソフトウェアリモコンの方向ボタンと数字ボタンで設定してください。
 - ・繰り返しは一回、毎週、毎日のみです。
 - ・設定をやめるときは、 $\leftarrow$ 戻るボタンを押してください。
5. 予約の一覧が表示される

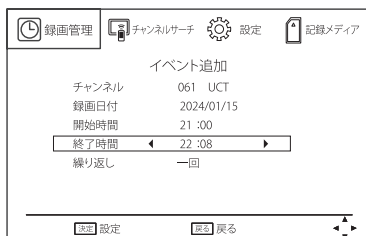
設定した予約の確認や修正をする<予約リスト>

設定した録画の予約を確認したり、追加・修正をすることができます。

1. 番組視聴中にリモコンの $\odot$ ソフトウェアリモコン ボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【EPG】【情報表示】を順に選択し、「予約リスト」を表示する
3. ソフトウェアリモコンの方向ボタンで予約設定を選択し、ソフトウェアリモコンの【赤】で予約追加、【緑】で選択した予約設定の修正、【青】で選択した予約設定の削除をすることができます

それぞれ画面上の指示に従ってください。

- ・リモコンの $\odot$ TV設定ボタンを押して「録画管理」タグで「予約リスト」を選択することで「予約リスト」を表示することができます。



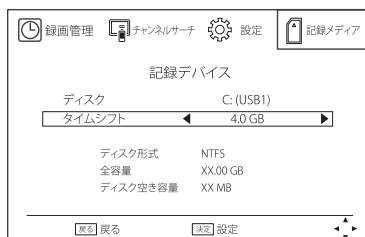
タイムシフト機能

追いかけ再生

番組視聴中に、なんらかの理由で離席する必要ができた場合、タイムシフト機能を使って、一時停止させ(登録されているメディアに録画が始まります)、席に戻ってから続きを視聴できる機能です。

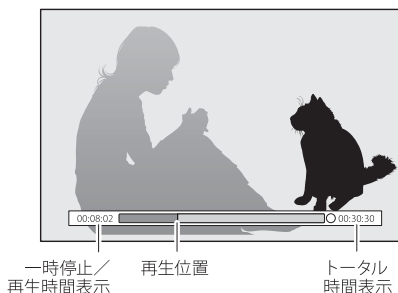
タイムシフト機能の準備

1. リモコンの  TV設定ボタンを押し、「記録メディア」タグを選択、「メモリー管理」から「記録デバイス」、「タイムシフト」を選択する
タイムシフト容量設定画面になります。
2. リモコンの左右ボタンでタイムシフトに割り当てるメディアの容量を選択する
0.5～4.0GBまで設定できます。
タイムシフトを利用する場合は、あらかじめ録画用メディアの容量を設定しておく必要があります。容量が多いほど、一時停止の時間を長く取ることができます。



タイムシフト機能の利用

1. 番組視聴中に、ソフトウェアリモコンの再生ボタンを押す
視聴中の番組を一時停止するイメージです。
左上に「●録画中」が表示され、画面中央上側に一時停止マークが表示されます。
2. 再度再生をするときに、ソフトウェアリモコンの再生ボタンを押す
視聴中の番組の一時停止を解除するイメージです。
画面中央上側に再生マークが表示されて、再生が開始されます。
下部にステータスバーが表示されます
左端〈一時停止/再生時間表示〉
現在の再生位置の時間を表示します。
右端〈トータル時間表示〉
タイムシフトが始まってからの経過時間を表示します。
バー〈動作状態の表示〉
タイムシフト機能の動作状態、現在の再生位置が確認できます。
3. ステータスバーのバー部分に注意し、青が残っている間に再生を開始する
一時停止をそのまま放置した場合は、赤が増えて青が減っていきます。
青の領域がなくなると、「ディスクの残量がなくなったため、録画を中止しました」と表示し、タイムシフトは終了して、再生できなくなります。
タイムシフト機能は、空き領域があれば、何度でも一時停止させることができます。



4. タイムシフト機能を終了させるときは、ソフトウェアリモコンの停止ボタンを押して、決定ボタンを押す
通常の番組視聴に戻ります。
また、タイムシフト用で録画したデータは自動的に消去されます。

テレビの操作 (つづき)

録画した番組の再生

録画した番組を再生・消去することができます。

1. リモコンの **●** ソフトウェアリモコン ボタンを押す
2. ソフトウェアリモコンの【録画リスト】を選択
3. 録画リストから、再生したいものをリモコンの方向ボタンで選択し、決定ボタンを押す

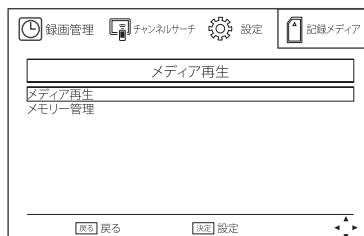
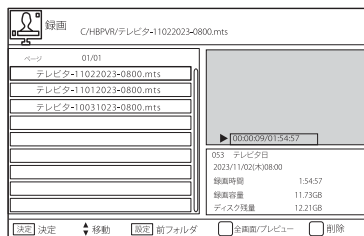
予約録画やダイレクト録画をした番組の一覧が表示されます。

- ・番組名が表示されず、放送局名と記録ファイル名が表示されます。

右上の枠内でプレビューが始まります。

- ・ソフトウェアリモコンの【赤】を押すたびに「全画面」と「プレビュー画面」が切り替わります。

リモコンの **⦿** TV設定 ボタンを押し、TV設定メニューで「記録メディア」タブの「メディア再生」を選択して「録画リスト」を表示させることもできます。



録画したものの削除

1. 録画リスト表示中に、削除したいものをソフトウェアリモコンの【黄】で左端にチェックを付ける
複数チェックを付けることができます。

外部接続した機器を楽しむ

本機の外部入力端子(HDMI、AV)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は以下の操作をします。

1. 外部機器との接続をする
2. 使用する外部機器の電源を入れる
外部機器側で音量を調節できる場合は、最初は音量を小さくしておいてください。
3. リモコンの **⦿** 入力切替ボタンを押して、入力切替画面を表示させ、リモコンの方向ボタンで外部入力を選択して決定ボタンを押す

HDMIまたはAVを選択します。

- ・機器によって音量が大きく出る場合がありますので、接続前に本機の音量はできるだけ下げておくようにしてください。

2. 決定ボタンを押す

「削除しますか？」と出るので、決定ボタン、もしくはキャンセルの場合は **⦿** 戻るボタンを押してください。

4. 接続した外部機器を操作する

△ご注意

著作権保護技術 (HDCP) に対応した映像を再生する場合はHDCPに対応した機器と接続ケーブルをお使いください。詳しくは接続された機器の取扱説明書を参照してください。

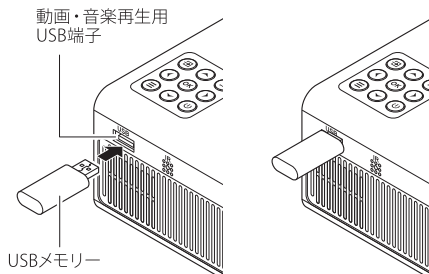
メディアプレーヤーの使用

メディアプレーヤーを使用する

本機の裏面にあるUSB端子に接続したUSBメモリーに記録した、動画・画像・音楽などを観ることができます。

1. USBメモリーを接続する

接続するUSBメモリーはFAT32形式でフォーマットされた1TB以下のものに限られます。それ以外のものでは、メディアプレーヤーが反応しません。



2. リモコンの **Ⓜ** 入力切換ボタンを押して、入力切換画面を表示させ、リモコンの方向ボタンでUSBを選択して決定ボタンを押す

3. メディアプレーヤーのメニューが表示されるので再生するファイルの種類を選択する

写真・動画・音楽・テキストをリモコンの方向ボタンで選択し、決定ボタンで決定してください。

4. USBを選択して決定ボタンを押す

フォルダーがある場合はここで選択します。

△ご注意

- 対応するファイル形式であっても、すべてのファイルの動作保証するものではありません。
- 一部のファイル名が正常に表示されない場合があります。

メディアプレーヤーの使用 (つづき)

5. 「写真」を選択した場合

USBメモリー内の画像ファイル名が並びます。
そのうちひとつをリモコンの方向ボタンで選択し、決定ボタンで決定してください。

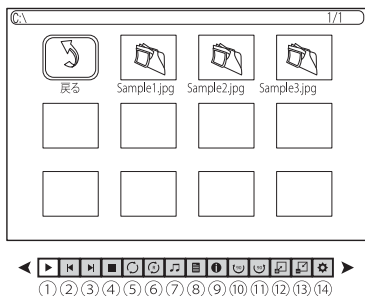
画像が表示されます。

下にコントロールバーが表示されますので、
リモコンの方向ボタンで選択、決定ボタンで決定することで、コントロールできます。

(◀戻るボタンでコントロールバーを消すこともできます)

- ① 再生/一時停止 ② 前のデータへ ③ 次のデータへ
- ④ 再生停止 ⑤ リピート (オン/オフ/オール) ⑥ ランダム
- ⑦ 音楽設定 (静止画再生中に音楽を流す設定)
- ※画像と同じフォルダ内に音声ファイルがある場合
- ⑧ プレイリスト表示 ⑨ インフォメーション
- ⑩ 90度右回転 ⑪ 90度左回転
- ⑫ 拡大ズーム ⑬ 縮小ズーム
- ⑭ 再生方法設定

◀戻るボタンを何度か押してメディアプレーヤーのメニュー表示まで戻ってください。



6. 「音楽」を選択した場合

USBメモリー内の音声ファイル名が並びます。
そのうちひとつをリモコンの方向ボタンで選択し、決定ボタンで決定してください。

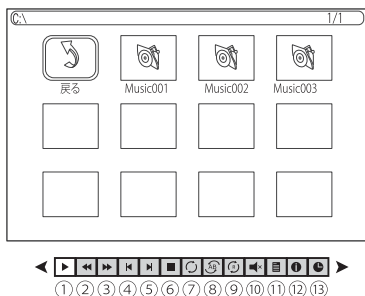
音楽が再生されます。

下にコントロールバーが表示されますので、
リモコンの方向ボタンで選択、決定ボタンで決定することで、コントロールできます。

(◀戻るボタンでコントロールバーを消すこともできます)

- ① 再生/一時停止
- ② 早送り再生 ③ 早送り再生 (早送り・早送り ×2/×4/×8/×16)
- ④ 前のデータへ ⑤ 次のデータへ
- ⑥ 再生停止 ⑦ リピート再生 (オン/オフ/オール)
- ⑧ AtoBリピート再生 (決定ボタンでA/B地点を設定)
- ⑨ ランダム ⑩ 消音 ⑪ プレイリスト表示
- ⑫ インフォメーション (再生中のデータの情報)
- ⑬ データの再生スタート時間を設定

◀戻るボタンを何度か押してメディアプレーヤーのメニュー表示まで戻ってください。



7. 「動画」を選択した場合

USBメモリー内の動画ファイル名が並びます。そのうちひとつをリモコンの方向ボタンで選択し、決定ボタンで決定してください。

動画が再生されます。

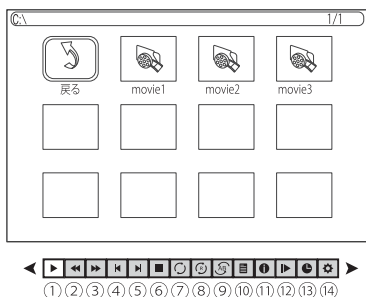
決定キーを押すとコントロールバーが表示されます。

リモコンの方向ボタンで選択、決定ボタンで決定することで、コントロールできます。

(●戻るボタンでコントロールバーを消すこともできます)

- ① 再生／一時停止
- ② 早戻し再生 ③ 早送り再生
(早戻し・早送り ×2/×4/×8/×16/×32)
- ④ 前のデータへ ⑤ 次のデータへ
- ⑥ 再生停止 ⑦ リピート再生 (オン/オフ/オール)
- ⑧ ランダム
- ⑨ AtoBリピート再生 (決定ボタンでA/B地点を設定)
- ⑩ プレイリスト表示
- ⑪ インフォメーション (再生中のデータの情報)
- ⑫ スロー再生 (×2/×4/×8/×16)
- ⑬ データの再生スタート時間を設定
- ⑭ 画面サイズ

(●戻るボタンを何度か押してメディアプレーヤーのメニュー表示まで戻ってください。)



8. 「テキスト」を選択した場合

USBメモリー内のテキストファイル名が並びます。そのうちひとつをリモコンの方向ボタンで選択し、決定ボタンで決定してください。

テキストファイルが表示されます。

※テキストの文字コードによって正しく表示されない場合があります。

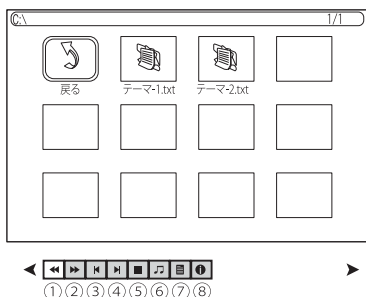
決定キーを押すとコントロールバーが表示されます。

リモコンの方向ボタンで選択、決定ボタンで決定することで、コントロールできます。

(●戻るボタンでコントロールバーを消すこともできます)

- ① 前のページへ ② 次のページへ
- ③ 前のデータへ ④ 次のデータへ
- ⑤ 再生停止
- ⑥ 音楽設定 (テキスト表示中に音楽を流す設定)
※画像と同じフォルダ内に音声ファイルがある場合
- ⑦ プレイリスト表示 ⑧ インフォメーション

(●戻るボタンを何度か押してメディアプレーヤーのメニュー表示まで戻ってください。)



各種設定

SMART TVモード以外のときにリモコンの **設定** ボタンを押し、リモコンの方向ボタン・決定ボタンで選択・設定してください。



画面設定	映像モード	標準	標準的な映像
		ソフト	ソフトな感じの映像にします
		ダイナミック	くっきりとした映像にします
		ユーザー	ご自身でお好みの映像に調節します
	色温	標準	標準的な色合い
		ウォーム	温かみのある色合いにします
		クール色	涼やかな色合いにします
		ユーザー	ご自身でお好みの色合いに調節します
	画面サイズ	16:9	16:9で表示します
		4:3	4:3で表示します
		ズーム1	拡大表示します
		ズーム2	ズーム1よりも更に拡大表示します
自動		自動的に最適なサイズを選択します	
投影スケーリング	100% ～ 75%	映像のサイズを縮小させます	

音声設定	音声設定	標準	標準的な音声
		音楽	音楽に適した設定にします
		動画	動画に適した設定にします
		スポーツ	スポーツ番組に適した設定にします
		ユーザー	ご自身でお好みの設定に調節します
	バランス	-50~+50	ヘッドホン接続時に左右の音のバランスを調節可能
	自動音量	オン	極端な音の変化を抑えます
		オフ	
	サラウンドサウンド	オン	音に広がりが出ます
		オフ	

機器設定	言語設定	日本語	9か国語から選択可能
	工場初期化	はい/いいえ	地デジの設定以外を出荷初期に戻します。
	メニュー表示時間	5秒~30秒	メニューの表示時間を5秒ステップで調節可能
		オフ	
	投影画像反転切換	逆・後/前/逆・前/後	映像の左右・上下を反転させます

DIVモードのとき、リモコンのTV設定ボタンを押す。
各タグの設定できる内容です。



TV設定	録画管理	予約リスト	録画を予約した番組のリストを表示します
		番組表録画	番組表から録画する番組を選びます
		指定録画	ご自身で録画詳細を設定できます
	チャンネルサーチ	自動スキャン	受信可能なチャンネルをスキャンします
		受信切替	自動/フルセグ/ワンセグの切替をします
		工場出荷時設定	地デジの設定のみを出荷初期に戻します
		デバイス情報	本機のソフトバージョン等を表示します
		ファームウェア更新	地デジのソフトウェアの更新の際に使用します
	記録メディア	メディア再生	録画した地デジ番組を選んで再生できます
		メモリー管理	使用するメモリーの情報表示やメモリーのフォーマットを行います

お手入れのしかた



警告

- ・修理技術者以外の人は分解や修理をしない。
- ・お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してたたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしく拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となります）。

レンズ部のお手入れ

一般的なティッシュペーパーを使用すると、傷をつける原因になります。メガネ拭きやクリーニングクロス等の柔らかいレンズ用のクリーナーを使用してください。

送風口のお手入れ

送風口がホコリで詰まらないように、定期的に掃除機で吸い取ってください。（送風口が詰まると故障の原因となります）



注意

- ・ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- ・本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	ACアダプター・DCプラグがはずれている	ACアダプターをコンセントに、DCプラグを電源端子に接続する
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を新しいものに交換する
	リモコンの電池の向きがおかしい	リモコンの電池を正しく入れなおす
音が出ない	- 音量を上げていない - 消音になっている	- 音量を上げる - 消音を解除する
	ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されている	ヘッドホン端子から接続機器を取りはずす
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない	ミニプラグを奥まできちんと差し込む
	4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している(4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります)	3極のステレオミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなどを使用してみる
雑音が入る	近くで電波などを発する機器(携帯電話など)を使用している	電波などを発する機器から離す、もしくは電波などを発する機器を離す
正常な動作をしない		一度ACアダプターを抜いて接続しなおす、またはリモコンの電池をはずして入れなおす
チャンネルなど切り替わらない	予約録画中	録画中は操作できることが制限されます

映写部分

フォーカス(ピント)が合わない	投影距離が不適切	投影距離を縮めたり、離してみる
	フォーカス自体があっていない	フォーカスリングで調節する
画面が暗い	投影距離が遠い	- 投影距離を近くする・部屋を暗くしてみる - 投影スクーリングを調節してみる

メディアプレーヤー(動画・音楽再生用USB端子)

USBメモリーを認識しない	USBメモリーがFAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている	USBメモリーをFAT32でフォーマットしなおす
	USBハブなどを介して接続している	本体に直接接続する
	大容量のものを使用している	1TB以下のものを使用する
充電されない	本機は充電対応になっていません	充電には使用しない

症状	主な原因	処置
録画機能（録画用USB端子）		
HDD/USBメモリーを認識しない	NTFSもしくはFAT32でフォーマットされていない	本機でFAT32またはNTFSにフォーマットしなおす
	USBハブなどを介して接続している	本体に直接接続する
途中で録画が終わっている	容量が一杯になった	録画前に確認する
	番組自体の放送時間が変わった	本機には番組追従機能は付いていません
	NTFSもしくはFAT32でフォーマットされていない	本機でFAT32またはNTFSにフォーマットしなおす

テレビ受信		
フルセグで受信できない	mini B-CASカードが挿入されていない／正しく挿入されていない	mini B-CASカードを確認する

キャスト機能		
スマートフォンの映像が投影できない	スマートフォンまたはアプリがGoogle Castに対応していない	スマートフォンおよび動画アプリがGoogle Castに対応しているか確認する。 （詳しくはそれぞれの取扱説明書を確認する）
再生していると映像や音声がかたつき乱れる	無線電波による混線	電波を発する家電や他の無線機器の使用を抑えて影響がないか確認する。本機とスマートフォンをあまり離さないようにする。

長年ご使用の製品はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

主な仕様

仕 様

電 源		AC100V - 240V 50/60Hz DC12V 5A
消費電力		56W（動作時。スタンバイ時 0.8W）
投影	投影サイズ	32 ～ 150 インチ
	投影距離	1 ～ 4.5 m
	解像度	1920 × 1080
	光源／寿命	LED / 約 30000 時間
	明るさ	170 ANSI ルーメン
	アスペクト比	16:9 / 4:3
	フォーカス	手動
	台形補正	手動
テレビ	受信チャンネル	地上デジタル放送 UHF 13 ～ 62 ch（フルセグ放送/ワンセグ放送 自動切替）
	EPG	最大8日
メディア プレーヤー	動画	MP4 MPEG-PS
	画像	JPEG BMP
	音楽	MP3
ワイヤ レス	Wi-Fi	IEEE802.11ac/b/g/n
	Bluetooth	Bluetooth 5.0
スピーカー出力		3W×1
音声出力		ヘッドホン端子 φ3.5mm×1
AV入力		φ3.5（付属のAVケーブル使用でステレオ音声＋映像）
HDMI入力		HDMI 1.4B対応
機能	プリインストールアプリ	Netflix、YouTube、PrimeVideo、etc.
	音声検索	Googleアシスタント
外形寸法		(約) 幅167×奥行125×高さ78mm（突起物含む）
質 量		(約) 800g（本体のみ）

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の商品は一部異なる場合があります。

MEMO

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは
保証書をお手元にご用意の
上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート



<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで
ONLINE STORE
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話から
お問い合わせ

☎0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00(祝日以外の月～金曜日)

修理品
発送先

ドウシシャ 〒915-0801
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付ける
ことができません。

輸入発売元 **株式会社ドウシシャ**

<https://www.doshisha.co.jp/>